

市の放射線対策

いま、日常生活に大きな影響を与えている放射線。今月号では、放射線低減に対する市の取り組みの現状をお知らせします。

◎連続掲載



▼50cmの高さを測定／単位は $(\mu S v / h)$ (表)

表土除去による放射線量の変化			
施設名	除去前	除去後	低減率(%)
たいしん保育園	1.4	0.29	▲79.3
大信幼稚園	1.1	0.35	▲68.2
信夫一小	1.2	0.31	▲74.2
信夫二小	1.5	0.43	▲71.3
大屋小	1.5	0.40	▲73.3

作業の前後を比較すると、7割から8割の低減が見られます。

低減対策

校庭等の表土除去

市では、児童・生徒が受ける放射線量の低減対策として、校庭等の表土除去作業を実施しています。

▼対象施設
公立全ての保育園、児童館・児童クラブ、幼稚園、小・中学校(44施設)

▼作業期間
夏休み期間中に完了予定
※放射線量の高い順に実施中(天候等により変動あり)

▼実施効果
現在作業が完了した施設の放射線量の変化は、上表のとおりです。

◇私立の保育園、幼稚園については、表土除去を行う場合、補助金を交付します。

放射線量の測定

市では、次の公共施設等における空間放射線量の測定を行っています。

▼測定箇所

保育園・幼稚園・児童クラブ、小・中学校、各地域集会施設、公園(都市・開発・農村・児童公園)、社会教育・体育施設、主要道路交差点部、下水処理場等、都市環境センター、農政課所管施設(公設卸売市場ほか)、保健福祉施設、市役所各庁舎

▼測定結果

市ホームページで随時更新しています。

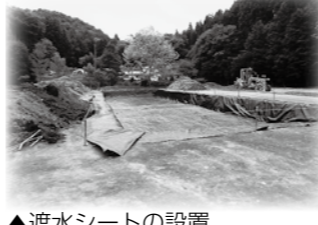
※先月号でお知らせした各地域集会施設における7月中旬の測定値は、若干の減少もしくはおおむね横ばいで推移しています。



▲表土除去



▲埋設場所の確保



▲遮水シートを設置



▲除去した土の入れ込み



▲遮水シートで包んだ状態



▲土をかぶせ、整地し完了

☎本庁舎教育総務課(公立担当) ☎@1111 内2354 / 本庁舎こども課(私立担当) 内2733

除染等について

学校の校舎や側溝等については、各学校がPTAの協力を得て、高圧洗浄機等による除染を行っています。また、公園等については、定期的に芝や草の刈り込みを行い、適正に管理しています。

農地の土壌調査等

市では、水田の放射線量把握のため、独自に調査ポイントを選定し、8月中旬に土壌調査を行います。また、県の農産物モニタリング検査結果に加え、国・県からの技術情報等を広報白河や市ホームページでお知らせします。☎本庁舎農政課 内2225

不安解消・風評被害対策

個人積算線量計(ガラスバッジ)を配付します

市では、児童・生徒等が受ける放射線量(積算線量)の把握と今後の健康管理を目的として、個人積算線量計(ガラスバッジ)を配付します。



▲配付する個人積算線量計ガラスバッジのイメージ

▼配付する物

個人積算線量計(ガラスバッジ)、ネックストラップ式ホルダー

▼配付対象

妊婦および中学生以下の子ども

▼配付開始予定

8月から



▲ガラスバッジとネックストラップ式ホルダー

アドバイザー講演会

▼演題

「福島原発事故の放射線健康リスクについて」

▼講師 高村 昇氏

福島県放射線健康リスク管理アドバイザー／長崎大学大学院医歯薬学総合研究科国際保健医療福祉学研究分野(原研国際)教授(医学博士)

県民健康管理調査

▼調査時期

8月以降

▼調査内容

3月11日から25日までの行動記録(いつ、どこに、どのくらいいたか、どのように移動したかなど)を問診票に記録する。※問診票は、8月以降に配布する予定です。

☎福島県災害対策本部救援班 県民健康管理チーム ☎024 152118028



3
広報白河 2011.8.1 (H23)

<ガラスバッジQ&A>

■Q1、どんな目的で作られたものですか?
⇒ 個人が受けた放射線量(外部被ばく量)を測定し、個人線量を算定するために作られた小型の積算線量計です。

■Q2、ガラスバッジ本体に数値は表示されるのですか?
⇒ バッジ本体には、放射線量の数値は表示されません。回収されたバッジを専門業者が測定し、算出した放射線量の数値を保護者(妊婦の場合は本人)に報告します。

■Q3、常に身に付けておかないといけないでしょうか?
⇒ 通常はネックストラップ式ホルダーで着用することが前提です。ただし、屋内にいるときは、同じ屋内の一定の場所(自分のかばんなどにつけて)に保管してもかまいません。☎本庁舎健康増進課 ☎@2112